

## 要 約

第一種監視化学物質として指定されている2-ベンゾトリアゾール-2-イル-4,6-ジ-*tert*-ブチルフェノールについて、鳥類の繁殖等に及ぼす影響に関する予備的な試験を実施するにあたり、投与量の設定等のための基礎資料を得るため、日本ウズラを1群10羽とし、10～15日齢までの5日間、本物質を1000、3000および5000ppmの濃度で基礎飼料に混合した試験飼料を給与し、さらにその後3日間の回復期間は基礎飼料のみを与え、鳥類摂餌毒性試験を実施した。試験群は、これら被験物質添加飼料を給与する3群および基礎飼料のみ与える対照の2群の計5群とした。

最高濃度5000ppmでも死亡は認められず、中毒症状や体重および摂餌量の変化等、毒性徴候も認められなかった。

以上の結果から、2-ベンゾトリアゾール-2-イル-4,6-ジ-*tert*-ブチルフェノールは、日本ウズラにおけるLC<sub>50</sub>値（95%信頼限界）および無影響濃度（NOEC）がいずれも5000ppmを上回り、鳥類に対する急性的毒性の弱い物質であった。

